

ダイナミックな景色を堪能

# 世界自然遺産奄美トのレイル式

1月26日(日)清水体育館前にて「世界自然遺産奄美トレイル」瀬戸内町エリアの開通式が行われました。  
 開通式参加者ら(約160人)は、大島海峡や加計呂麻島などの壮大な景色を一望できる節子・阿木名ホノホシ海岸コースを各々のペースで歩き、景色を撮影したり会話したりし、楽しみながらウォーキングしていただきました。  
 鹿児島県環境林務部の村山浩美次長は「奄美を訪れる多くの人に歩くことで、魅力ある自然や文化を感じてもらいたい」と話していました。  
 奄美トレイルとは奄美の自然を堪能しながら歩く



テープカットの様子

道(コース)のことで、奄美大島・徳之島が目指す世界自然遺産登録にちなんで、県が2016年から進めてきたもので、それぞれのコースは住民参加のワークショップ形式で選定し、残りの加計呂麻島・請・与路コースについては現在選定中とのこと。皆さんも是非奄美トレイル歩いてみてはいかがでしょうか♪



全体写真



実際にコースを歩く参加者たち

## のぼり旗を寄贈!



## 建築業協会から明生関へののぼり旗寄贈

2月12日(水)建築業協会から明生関へののぼり旗を寄贈していただきました。併せて町へのご寄附もいただきました。  
 建築業協会の磯さんは「明生関の怪我が一日でも早く治ってほしいです。そして、

また瀬戸内町民の励みとして、来場所も活躍してもらいたいです。建築業協会一同、明生関のことを応援しています。」と話しました。  
 のぼり旗並びにご寄付をいただき、ありがとうございました。

## 明生関をたくさんの方が応援!



## き ぼり旗の土台が設置

先日、きゅら島交流館正面のぼり旗が掲げられて、(株)里山興業のご厚意により、きゅら島交流館に立ち寄った際には、是非ご覧になってください♪  
 現在、この土台には、たくさんの方の企業、団体から寄贈された明生関

みんなで仲良く、駒打ち体験♪

# 篠川小中学校にて椎茸駒打ち体験が行われました

1月21日(火)、篠川小中学校体育館にて、森林体験学習の一環で「しいたけ駒打ち体験」が行われました。篠川小中学校の児童生徒18名が5班に分かれ、用意された100本のほど木1本ずつに36か所の穴をあけ、その穴に椎茸の駒を打ち込む作業を協力しながら行いました。



昨年度打ったほど木には立派なしいたけが♪



もたくさんの椎茸を収穫して普段お世話になっている集落の人たちに分けてあげたいです。」と話しました。

深く“奄美”を知る

# 服部正策氏を講師に招き、大人の世帯自然遺産講座が行われました

1月19日(日)、町立図書館2階にて、第2回大人の世帯自然遺産講座が行われました。講師には「令和元年度南海文化賞」を受賞された東京大学医学研究所の服部正策氏が、「奄美を見つめて40年〜世界自然遺産の楽しみ方〜」をテーマに講話を行い、なぜ奄美が世界自然遺産に登録さ



れようとしているのか、また、奄美大島が形成された経緯などを細かく話されました。「奄美の固有種であるルリカケスはなぜか与路島にだけ生息していない」といった話や、「節子の山にはとても大きな穴が開いている」といった話に、会場からは驚きの声が上がっていました。

楽しい思い出ができました♪

# こども園お餅つき交流会

2月1日(土)児童デイサービス事業所こども園にて、毎年恒例のお餅つき会が行われました。この行事は園の児童たちとふれあいながら楽しんでほしいと毎年開催されており、今年も多くの地域住民や関係者が参加しました。お餅つき会の途中には、瀬戸内町吹奏楽団がじゅまによる演奏会や、長絃子さん



によるダンスショーなどもあり、児童たちは一緒にダンスを踊ったり、みんなで歌ったりして終始笑顔の絶えないお餅つき会となりました。ついたお餅はぜんざいやきなこもち、あんもちにして児童達と参加者は美味しくいただきました。